

暮らしやすい鈴蘭台のまちをめざして...

駅前まちづくり ニュース

発行：鈴蘭台駅前再開発検討部会



平成 11 年 11 月 1 日

2号

●第2回勉強会を開催！

前回に引き続き、部会員のみなさんが「気にかかっていること」をテーマに意見や考えを出し合いました。

●検討部会を開催しました！

10月12日(火)午後7時30分より、検討部会を開催しました。

幹事の選出と第2回勉強会をテーマに意見交換をしました。

●幹事が決まりました！

木戸 博和 幹事(鈴蘭台北町)

松村 文雄 幹事(鈴蘭台北町)

壺塚 淳行 幹事(鈴蘭台東町)

竹岡 宣治 幹事(鈴蘭台東町)

が選出されました。

検討部会の役員体制が整いました。

●第2回勉強会での意見等●

駅前広場の こと

- ・駅前広場は広いに越したことはないが、現実的にその広さはむずかしい。
- ・バスやタクシーだけでなく、自家用車のスペースが必要である。
- ・バスの大きさなどによって、駅前広場のあり方もかわる。

バス のこと

- ・鈴蘭台駅発着のバス便が必要で、周辺の魅力施設を結ぶ。(10~15kmくらいまで)
- ・バス路線のない地域への路線の延長などが必要である。
- ・近距離路線であれば、神鉄サービスの小型バスをシャトルバスにして巡回する方法もあるのではないかな。

駐車場の こと

- ・鈴蘭台には駐車場がないので商圈が小さくなっている。
- ・駅から100m以内に駐車場がないと利用しないのではないかな。

にぎわいの こと

- ・ホークスの優勝セールの時も、午後からは並ばずにダイエー駐車場に停められたと聞く。商圈が狭くなっている。
- ・郊外型商業地と勝負しようとして、駐車場をつくっても対抗できない。駅ビルを建てて冷たいまちにたくない。

駅前への アクセス道路

- ・駅前を整備するには、駅前へ来られる道路の整備もなければいけない。
- ・道路の整備は、なるべくお金をかけない方法も検討しなければならない。

部会の進 め方

- ・都市計画決定の区域内の権利者の出席数が少ない。
- ・道路や駅前広場をつくるだけでは、駅前の活性化とはいえないので、我々が駅前をどうしたいのかを、できるだけ多くの関係者で話をしなければならない。
- ・検討部会は、再開発ありきの会ではないし、一部の者が計画を強行するものでもない。
- ・部会という公的な場で、みんなで意見を出しあって、神戸市とも話しを積み重ねていくことが必要である。

※次回は11月9日(火)午後7時30分より鈴蘭台自治会館2階で行いますので、関心のある方はふるってご参加下さい

連絡先：UR(株)都市・計画・設計研究所 TEL078-821-6716

(検討作業のお手伝いをしているまちづくりコンサルタント)